

平成15年2月6日

各 位

病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について

平成14年度病害虫発生予察技術情報資料第9号を送付します。

シルバーリーフコナジラミによると思われるハウスピーマンの白化症状について
(平成14年度病害虫発生予察技術情報資料第9号)

1. 害虫名 シルバーリーフコナジラミ

Bemisia argentifolii BELLOS and PERRING

2. 発生物種 促成ピーマン、シシトウ

3. 発生地域 南国市

4. 発生経過

(1)平成14年6月、南国市浜改田の促成ピーマンハウスで果実及び生長点付近の茎葉に白化(退緑色)が見られ、白化株にはシルバーリーフコナジラミの発生が見られた。

(2)平成14年11月頃より、南国市南部の促成ピーマン、シシトウ栽培地帯で同様な症状が発生し、白化による品質低下で出荷できない果実も見られていたが、防除によりシルバーリーフコナジラミの密度が低下すると、白化症状は改善された。

(3)シルバーリーフコナジラミによる作物の被害としてトマト、カボチャ、セルリー、ハクサイなどで退緑色、白化などの異常症状が報告されているが、県内のピーマン、シシトウでは確認されていなかった。

(4)現時点では今回のピーマン、シシトウの白化症状がシルバーリーフコナジラミの寄生によるものと断定はできないが、現在、天敵導入等により全般的に殺虫剤の使用回数が減り、本虫の発生が増加傾向にあるため、新たな地域での白化症状の発生が懸念される。



(写真:左が白化症状の現れているピーマンの果実。右は正常果。)

防除所ホームページ

(<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/byoki/boujoshu/index.html>)

には、カラーの写真を掲載しています。

5. 今後の対応

(1)シルバーリーフコナジラミの発生を伴う白化症状が見られた場合は、アブラムシ類等との同時防除により密度低下に努める。

なお、今後、因果関係等について調査を行う予定ですので、ピーマン・シシトウ等で上記のような症状が見られた場合は、情報提供をお願いします。

担当:病害虫防除所 杉本、安岡

088-863-1132 Fax 088-863-7470